

<第2期『ここすき!』が終了しました>

親子共々、「ここすき! って、どんなことをするのだろう?」と、不安そうだった始まりの頃。回数を重ねるうちに、楽しい遊びがみつき、友だちとも仲良くなり、ニコニコ笑顔で登所してくるようになりました。

ここすき!の楽しさがわかってくると、子どもたちも期待をしてくれるようになりました。

「ここすき!に出かける準備をしていると、連絡ノートを(子どもが)自分で出してきました」と、いう子がいるほどです。

出席カードにしっかりシールを貼り、かごの中にノートをしまおうと、拍手。その後自分の名札をみつけるとまた拍手…と、自分でできたことがとてもうれしそうです。

満足いくまで遊んだ後、「次は、絵本を読むよ」の声かけに、気持ちを切り替え、サッと片づけをする子どもたち。友だちと一緒に、「よいしょ、よいしょ」と、おもちゃのかごを運んでいく姿は誇らしげです。



朝と、帰りの集まりの時には、お母さんから離れ、椅子に座って話を聞きます。小麦粉粘土や製作、水遊びなど、これから始まる活動の話を書くときには特に、「なんだろう?」と目を輝かせ、真剣に聞いています。

友だちの姿に刺激を受け、椅子に座ろうとしたり、反対にお母さんの膝に戻ってしまう友だちに影響され、椅子から離れていく姿もあります。先に座った子が隣の椅子を指差し、「ここ、あいてるよ!」と、友だちを呼んであげたり、友だちと手をつなぐことで安心して座れる子もいました。毎回、同じメンバーで遊んできたことで、この友だちと一緒にいると安心、楽しいという感覚が芽生えてきました。友だちから、たくさんの刺激を受けた子どもたちです。



今回、本町学童保育所を新たに増やしたことで、南の地域の方々が参加しやすくなりました。本町学童保育所は、周りを自然に囲まれ、窓から見える木々の緑が爽やかでとても良い環境です。1期生の方から、「外での活動も取り入れては？」との意見もいただき、今回“散歩”ということで、近くの城山に歩いて出かけました。中央児童館のつぼみ組も、自転車やバスで来ていただき、同様に散歩を楽しみました。

雑木林の中でこぼこしたみちを歩き、小川でアメンボを眺め、木の実拾いをしただけですが、皆さん、一様に「楽しかったです！」との感想。国立市内にこんなに自然豊かな場所があったなんて、驚かれています。様々なこすき！の活動を通して、こんな遊び方があるんだと気づいたり、今後家族で訪れてもらえるとうれしいです。



こすき！が終わりに近づき、お母さん方に感想を話してもらったり、次に参加したいと考えている方に向けてメッセージを書かせていただきました。

「ココスキ、イクと朝から楽しみにしていました」「毎回違う遊びが楽しく、子どもの成長が見られました」「お友達と楽しそうに過ごしている姿が見られて、良かったです」「先生方やお母さんたちとの意見交換が参考になり、充実した時間でした」「子どもも私（母）も成長することができました」等々、うれしい感想がたくさん寄せられました。

今年度は、(より多くの親子を受け入れるため)1クールが3か月という短い期間で、活動内容が駆け足になってしまいましたが、お母さんたちは、それだけに1回1回を大切に、雨の日でも、休まずに参加してくれました。テーマを決めて意見交換をしたことも、とても話しやすく、貴重な時間となったようです。

